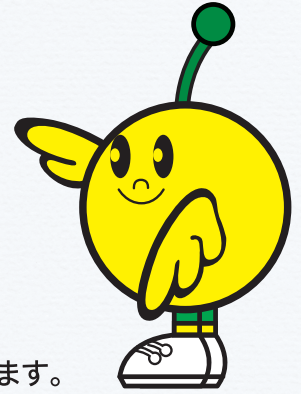


1兆4,418億円 5,043億円

11 福島県総合計画 の重点プロジェクト



県では、東日本大震災・原子力災害からの復興と地方創生の視点により、特に取り組むべき課題に対応した事業を11の重点プロジェクトとして推進しています。

ふるさとで働く

7 農林水産業再生プロジェクト 【77事業 700億円】

ピックアップ 強い野菜産地拡大特別対策事業
(農林水産部)…【1.4億円】

きゅうりなどの主要野菜の施設化を促進し、生産量・品質の向上と長期安定出荷により、生産力に優れた強い野菜産地の拡大を図ります。



8 中小企業等復興プロジェクト 【41事業 875億円】

ピックアップ ふくしま中小企業等人材育成支援事業 (商工労働部)…【0.2億円】

人材育成の課題調査・分析、階層別人材育成計画作成支援により企業力強化を図るとともに、研修情報を一元化し配信することで人材育成の活性化を図ります。

9 新産業創造プロジェクト 【33事業 288億円】

ピックアップ 課題解決型医療福祉機器等開発推進事業
(商工労働部)…【0.6億円】

県内企業の高度な技術力を生かし、救急・災害現場で活用できる製品開発の支援を行うことで、医療関連産業の振興と、社会的課題の解決を目指します。



まちをつくり、人とつながる

10 風評・風化対策プロジェクト 【61事業 136億円】

ピックアップ 東京2020オリンピック・パラリンピック関連復興推進事業 (文化スポーツ局)…【6.6億円】

あづま球場の野球・ソフトボール競技開催準備に加え、大会を復興状況の発信、風評の払拭、地域振興、交流人口の拡大などにつなげるための事業を実施します。



※イメージ

11 復興まちづくり交流ネットワーク基盤強化プロジェクト 【36事業 1,763億円】

ピックアップ そなえるふくしま防災事業
(危機管理部)…【0.1億円】

防災ガイドブックの活用や危機管理センターの情報発信力強化により、県民の防災意識を高めるとともに、東日本大震災の教訓の伝承と風化防止につなげます。



福島を未来へつなぐ復興・創生予算

令和2年度は、復興・創生期間(平成28～令和2年度)の最終年度となります。当初予算の総額は1兆4,418億円で、うち5,043億円が、復興と地方創生を進めるために充てられます。

1 人口減少・高齢化対策プロジェクト 【284事業 615億円】

ピックアップ ふくしま創生人財育成事業
(教育庁)…【0.2億円】

高校生自身が福島県の魅力を発見して郷土理解を深め、自治体や企業等、地域との接点を増やすことで、「地方創生」の観点から人材を育成します。



ピックアップ 都市人材とつながる。ふくしまの未来共創促進事業
(企画調整部)…【0.3億円】

新たな取り組みにチャレンジする県内各団体と、自らのスキルを生かし課題解決に関わる都市人材とのマッチングによる、ふくしまの未来創りを促進します。

避難地域の復興・再生

2 避難地域等復興加速化プロジェクト 【62事業 435億円】

ピックアップ イノベーション創出プラットフォーム事業
(商工労働部)…【4.0億円】

産業・金融・行政等からなる連携体制を構築し、プロジェクトの掘り起こしから事業化に至るまで、一体的な支援により浜通り地域のイノベーションを創出するビジネス創生を推進します。

ピックアップ Jヴィレッジ利活用促進事業
(企画調整部)…【1.9億円】

Jヴィレッジを交流人口拡大や復興発信の拠点として幅広い利活用を図ることで、本県の復興の姿を国内外に発信していきます。



安心して住み、暮らす

3 生活再建支援プロジェクト 【34事業 238億円】

ピックアップ 企業等と連携した子供高齢者安全対策強化事業(警察本部)…【0.1億円】

子供と高齢者を犯罪や交通事故の被害から守るため、企業等と連携して防犯体制の強化・拡充を図ります。



4 環境回復プロジェクト 【33事業 994億円】

ピックアップ 鳥獣被害対策強化事業
(生活環境部)…【6.0億円】

イノシシ等野生鳥獣による生活環境や農林業被害を減少させるため、必要な対策を実施することで野生生物との共生の実現を目指します。

5 心身の健康を守るプロジェクト 【55事業 214億円】

ピックアップ 宮下病院整備事業
(病院局)…【0.1億円】

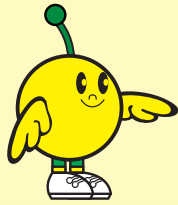
へき地医療の確保や地域包括ケアシステムの構築支援など、奥会津における持続可能な医療提供の確保のため、施設の建替えに向けた基本計画を策定します。

6 子ども・若者育成プロジェクト 【106事業 187億円】

ピックアップ ふくしま保育環境向上支援事業
(こども未来局)…【0.2億円】

(公社)こども環境学会と連携し、セミナーの開催や専門家による巡回指導を実施することで、ふくしまならではの質の高い保育を提供します。





4つの「つなぐ」

復興・創生の取り組みの成果を
新たなステージへ!



人と「つなぐ」

- 都市人材のもつスキルやノウハウを地域企業等の課題解決に生かす
- 地域資源を生かした新しい働き方・暮らし方を首都圏等の若者に体験していただく機会を創出



子どもたちが「つなぐ」

- 福島の高校生が復興学習や海外研修を通して、課題解決能力や英語で伝える力を養う
- 社会貢献活動などを通じた、高校生の郷土理解を深める取り組みや地域人材の育成



世界と「つなぐ」

- 東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催を契機に世界各国の人々と交流
- 輸入規制を実施している国や地域に対する、県産農林水産物の安全性の正確な情報発信



多様な主体と「つなぐ」

- 市町村との連携を進化させ、地域の実情に応じて専門的な課題解決を支援
- 地域が主体となり取り組む持続的な周遊観光の仕組みづくりを支援



令和2年度 一般会計予算

※項目ごとに小数点第2位を四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

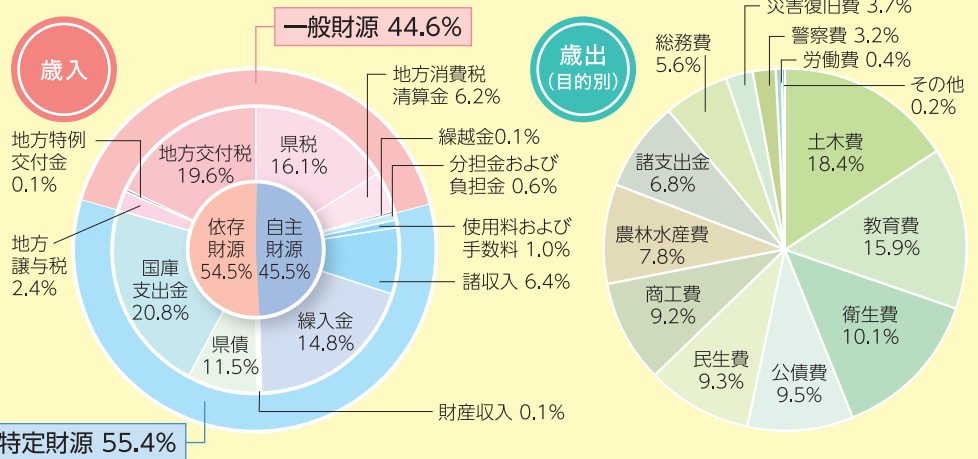
県庁財政課

☎024(521)7029

ホームページでも
詳しい資料を公表しています。

福島県財政課

検索



復興・創生期間の最終年度となる令和2年度は、本県の復興と地方創生を着実に前進させていく上で重要な一年となります。

このため、昨年の東日本台風等による災害からの復旧と生活・生業の再建に向けた取組を始め、避難地域や浜通りの再生と県全体の復興を加速させるとともに、結婚・出産・子育て支援の充実や健康長寿県の実現、交流人口の拡大など、福島ならではの地方創生をしっかりと進めていきます。

これまで積み重ねてきた復興・創生の取組の成果を新たなステージへとつないでいけるよう全力で挑戦を続けていきます。

積み重ねた成果を
新たなステージへ「つなぐ」
福島県知事 内堀 雅雄

知事
メッセージ
Message

